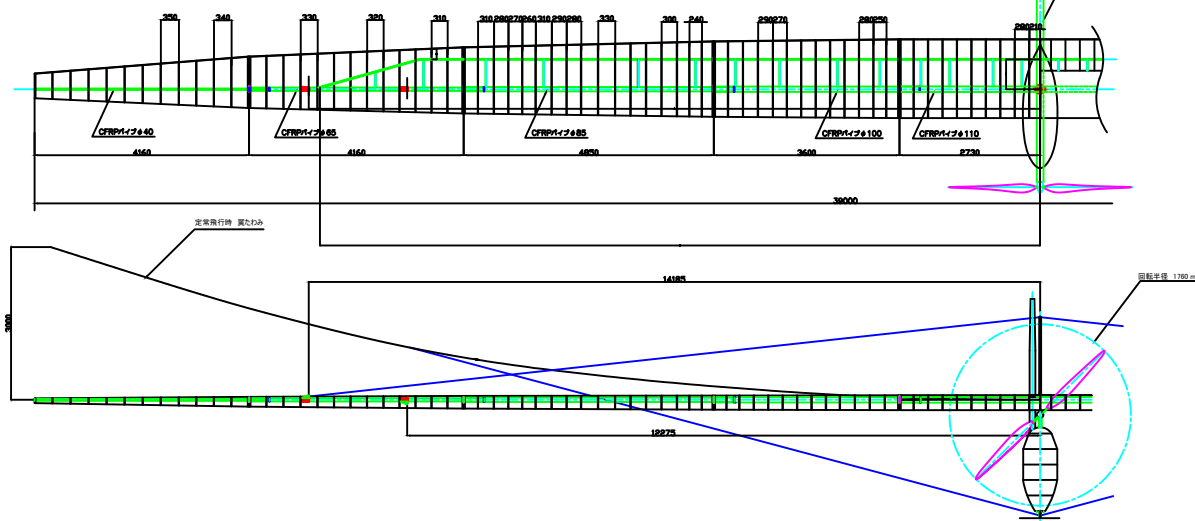
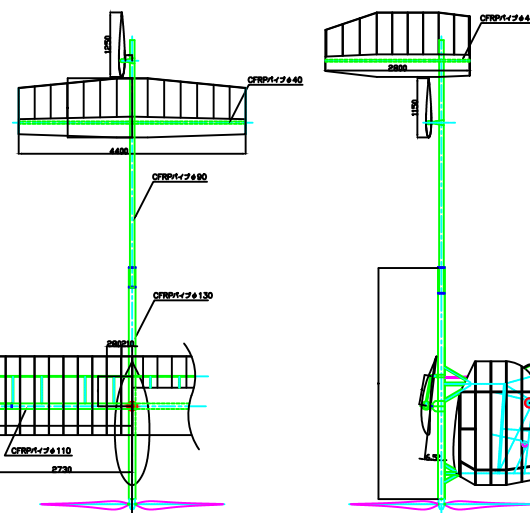


[illegible]

パイロットは前パイロットと後パイロットの間にパイロットといふことが必要とらる。パイロット間のパイロットを減らすことは、影響の少ない、チェーンの短縮だが、またパイロット同士の連絡も取れなくなる。パイロットを減らすことによる機体の低下はフレームビームの値を20%減らすこと、前後のパイロットに補助をつけることである。

新機方式2号機と同様に、自機から距離チューンをプロパティシャフトへ伝送する方式を採用している。機体のインジェクションもパイロットのパワーを効率よく駆動力に反響するために、パイロット各々の最適な取り回しを代入したフレーム構造である。

重量		主翼		水平尾翼		垂直尾翼	
搭載者重量 (kg)	60	翼面積 (m ²)	48.7	翼面積 (m ²)	4.56	翼面積 (m ²)	3.245
搭載者重量 (kg)	54	翼幅 (m)	39	翼幅 (m)	4.4	翼幅 (m)	2.8
機体重量 (kg)	74	空力平均翼弦 (m)	1.3	モーメントアーム (m)	5.5	モーメントアーム (m)	6.7
全備重量 (kg)	190	アスペクト比	31.2	静バリュウム比	0.39	静バリュウム比	0.011
		翼面荷重 (kg/m ²)	4.61	動フアクター比	1.65	動フアクター比	0.002



1 次構造材にCFRPパイプ、2 次構造材にスタイロフォーム、バルサ材、熱収縮フィルムを用いる。

スタイロフォーム製8mm厚のリップを280～330mmの間隔で配置した後、上面60%、下面15%に2mm厚のスタイロシートを張り、表面を熱収縮フィルムで覆う。

上面15%、60%、下面15%の位置に5mm角のバルサ材を通し、後縁にも同じく4×6mm角のバルサ材を通すことで、性能を殆ど落とさずことなく軽量化かつ剛性の高い梁を形成していく。

決意

設計	高沢 直弘	パイロット	福澤 将宣, 黒木 隆行		
日付	2006/03/18	製図	T. B. T_DW	尺度	1:25
芝浦工業大学				校章	
Team Birdman Trial					
所 属					